安全データシート

製品名:ビーム ™ プリンス®粒剤(Beam Prince GR) 改訂 2011 年 3 月 7 日

1.化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称: フィプロニル・トリシクラゾール粒剤

会社名: ダウ・ケミカル日本株式会社　ダウ・アグロサイエンス事業部門

住　所: 東京都品川区東品川2丁目2番24号天王洲セントラルタワー

電話番号: 03－5460－6566　FAX番号: 03－5460－6291

メールアドレス: dasjapan@dow.com

緊急連絡先: 0120－001017

中毒に関する緊急問合せ先 ： 大阪中毒110番　072－727－2499

つくば中毒110番　029－852－9999

推奨用途: 農薬(殺虫殺菌剤)

2.危険有害性の要約

GHS 分類

人健康有害性	急性毒性(経口)	区分外
	急性毒性(経皮)	区分外
	皮膚腐食性・刺激性	区分外
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分外
	皮膚感作性	区分外
	生殖細胞変異原性	区分外
	発がん性	区分 1A
	特定標的臓器(全身毒性)(単回ばく露)	区分 1(呼吸器系)
		区分 2(神経系)
	特定標的臓器(全身毒性)(反復ばく露)	区分 1(呼吸器系、腎臓)
		区分 2(神経系、肺)
環境有害性	水生環境急性有害性	区分 2

ラベル要素

絵表示又はシンボル:

注意喚起語: 危険

危険有害性情報:　発がんのおそれ
呼吸器系の障害
神経系の障害のおそれ
長期又は反復ばく露による呼吸器系、腎臓の障害
長期又は反復ばく露による呼吸器系、肺の障害のおそれ
水生生物に毒性
長期的影響により水生生物に毒性

注意書き:　【安全対策】
使用前に取扱説明書を入手する。
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わない。
取扱い後はよく手を洗う。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。
環境への放出を避ける。
指定された個人用保護具を使用する。
【応急措置】
ばく露した場合、医師に連絡する。
ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当て、診断を受ける。
ばく露した時、又は気分が悪い時は、医師に連絡する。
気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受ける。
特別な処置が必要である。
漏出物は回収する。
【廃棄】
施錠して保管する。
【廃棄】
内容物や容器を廃棄する場合は、国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄する。

3.組成、成分情報

単一製品・混合物の区別　: 混合物

化学名(一般名)　: 5−メチル−1,2,4−トリアゾロ[3,4−b]ベンゾチアゾール (トリシクラゾール)
(±)5−アミノ−1−(2,6−ジクロロ−α ,α ,α −トリフルオロ−p−トルイル)−4−トリフルオロメチルスルフィニル−ピラゾール−3−カルボニトリル (フィプロニル)

成　分	含有量(%)	化学式	官報公示整理番号	CAS No.
トリシクラゾール	4.0	$C_9H_7N_3S$	8-(3)-520(安衛法)	41814-78-2
フィプロニル	1.0	$C_{12}H_4Cl_2N_4OS$	(5)-6414(化審法) 8-(2)-1163(安衛法)	120068-37-3
鉱物質微粉 等 (シリカ) (酸化アルミニウム)	95.0 (83) (3.7)	ー	ー	ー

4.応急処置

吸入した場合:　被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休憩させる。
医師の手当て、診断を受ける。

眼に入った場合:　水で数分間注意深く洗う。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続ける。
医師の手当て、診断を受ける。

皮膚に触れた場合:　皮膚を速やかに洗浄する。
医師の手当て、診断を受ける。

飲み込んだ場合:　口をすすぐ。
患者に意識がない場合、口から何も与えてはならないし、吐かせてもならない。
医師の手当て、診断を受ける。

医師に対すると特別な注意事項:
フィプロニルによる中毒に対しては、動物実験でフェノバルビタール製剤の投与が有効であると報告されている。

5.火災時の処置

消火剤:　粉末消化剤、泡消化剤、炭酸ガス

使ってはならない消火剤:　情報なし

特有の危険有害性:　情報なし

特有の消火方法:　情報なし

消火を行う者の保護:　消化作業の際は、保護衣を着用し、眼、鼻、口を覆う保護具(ホームマスク等)を着用するのが望ましい。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:

作業に際しては適切な保護具を着用し、飛散しない方法で回収する。

直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。

関係者以外の立入りを禁止する。

作業者は適切な保護具(「8.ばく露防止装置及び保護措置」の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

環境に対する注意事項:河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。

回収・中和:　大量の漏洩物の除去や廃棄処理の場合は専門家の指示による。

封じ込め及び浄化方法・機材:

危険でなければ漏れを止める。

二次災害の防止策:　可燃物(木、紙、油等)は漏洩物から隔離する。

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7.取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策:　情報なし

局所換気・全体換気:情報なし

安全取扱い注意事項:

取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

使用前に取扱説明書を入手する。

すべての安全注意を読み理解するまで取扱わない。

容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。

空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行う。

粉じん、ヒュームの吸入を避ける。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

接触、吸入又は飲み込まない。

かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意する。

保　管

技術的対策:　保管場所は壁、柱、床を耐火構造とし、かつ、はりを不燃材料で作る。
直射日光を避け、低温で換気のよい場所で保管する。

保管条件:　施錠できる場所に保管する。
容器を密閉して換気の良い場所で保管する。
容器は直射日光や火気を避け、冷暗所で保管する。
食品や飲料と区別して保管する。
小児の手の届くところに置かない。

容器包装材料:　情報なし

8.暴露防止および保護措置

管理濃度:　トリシクラゾール 未設定
フィプロニル 未設定

許容濃度:トリシクラゾール 日本産業衛生学会(2006年版)　3 mg／㎥
ACGIH(2006年版)　設定されていない。

設備対策:　この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置する。
管理濃度・許容濃度以下に保つために換気装置を設置する。

保護具

呼吸器の保護具:　防塵マスク、適切な呼吸器の保護具

手の保護具:　適切な保護手袋

眼の保護具:　適切な眼の保護具

皮膚及び身体の保護具:
適切な顔面用の保護具
適切な保護衣

衛生対策　取扱い後はよく手を洗う。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など:　黄赤色細粒　見かけ比重: 1.3793　pH: 9.43

オクタノール／水分配係数: トリシクラゾール log Pow＝1.41(20℃)
フィプロニル log Pow＝4(PHYSPROP Database 2005)

10.安定性及び反応性

安定性：	通常の条件では安定
危険有害反応性：	情報なし
避けるべき条件：	情報なし
混触危険物質：	情報なし
危険有害な分解生成物：	情報なし

11.有害性情報

急性毒性	経口　LD_{50}　（ラット）＞5000 mg/kg(雌雄)		GHS分類：区分外
	経皮　LD_{50}　（ラット）　>2000 mg/kg（雄雌）		GHS分類：区分外
刺激性	皮膚刺激性（ウサギ）	刺激性なし	GHS分類：区分外
	眼刺激性（ウサギ）	刺激性なし	GHS分類：区分外
皮膚感作性	皮膚感作性（モルモット）	陰性（Buehler法）	GHS分類：区分外
発がん性	区分1Aに分類されるシリカ濃度が83%のため、区分1Aとした。		

特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）

区分1（呼吸器系）に分類されるシリカ濃度が83%のため、区分1（呼吸器系）とした。区分1（神経系）に分類されるフィプロニル濃度が1.0%のため、区分2（神経系）とした。

特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）

区分1（呼吸器系、腎臓）に分類されるシリカ濃度が83%のため、区分1（呼吸器系、腎臓）とした。区分1（神経系）に分類されるフィプロニル濃度が1.0%のため、区分2（神経系）とした。区分1（吸入：肺）に分類される酸化アルミニウム濃度が3.7%のため、区分2（吸入：肺）とした。

12.環境影響情報

水生環境急性有害性	LC_{50}・96hr（コイ）	24 mg/L	GHS分類：区分3
	EC_{50}・48hr（オオミジンコ）	1.5mg/L	GHS分類：区分2
	E_bC_{50}・72hr（藻類）	75.3 mg/L	GHS分類：区分3

13.廃棄上の注意

廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従う。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上、処理を委託する。

空容器を廃棄する場合は、内容物を除去した後に適切に処分する。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報	IMOの規定に従う。
国連分類	クラス9
国連番号	3077
品　　名	環境有害物質(固体)、n.o.s.
容器等級	Ⅲ
海洋汚染物質	該当
航空規制情報	ICAO／IATAの規定に従う。
国連分類	クラス9
国連番号	3077
品　　名	環境有害物質(固体)、n.o.s.
容器等級	Ⅲ
海洋汚染物質	該当

国内規制

陸上規制情報	該当しない
海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
国連分類	クラス9
国連番号	3077
品　　名	環境有害物質(固体)、n.o.s.
容器等級	Ⅲ
海洋汚染物質	該当
航空規制情報	
国連分類	クラス9
国連番号	3077

品　　名	環境有害物質(固体)、n.o.s.
容器等級	Ⅲ
海洋汚染物質	該当
輸送時の安全対策	食品や飼料と一緒に輸送してはならない。 運搬に際しては、容器に破損、漏れのないことを確認し、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 直射日光、風雨に直接暴露しない状態で輸送する。
緊急時応急措置指針番号	171

15.適用法令

農薬取締法:　登録番号:第19571号

労働安全衛生法:　名称等を通知すべき有害物 (法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)
トリシクラゾールー政令番号第581号
シリカー政令番号第312号
酸化アルミニウムー政令番号第189号

毒物及び劇物取締法:　トリシクラゾール(8%以下)ー劇物・除外品目(指定令第2条)
フィプロニル(1%以下)ー劇物・除外品目(指定令第2条)

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法):フィプロニル　1種22

土壌汚染対策法:　ふっ素及びその化合物(特定有害物質)

16.その他

記載内容の取扱い

製品安全データシートは、化学製品を安全に取り扱うための参考資料として、当該化学製品を取り扱う事業者に提供されるものであって、安全を保証するものではありません。

ここに記載された数値は規格値や品質を保証する数値ではありません。

また、本記載内容は現時点で入手できる一般情報及び自社情報に基づいて作成してありますが、本品(当該製品)に関する全ての情報が網羅されているわけではなく、新しい知見によって改定されることがあります。

さらに、記載の注意事項は通常の取扱いを対象としたものですが、特別な取扱いをする場合は用途、用法に適した安全対策を実施の上ご利用下さい。

本品(当該製品)を農薬として使用する場合、製品ラベルに記載されている注意事項に従って使用することで安全を確保することができます。